

の大自然を満喫

〜児童生徒県外研修〜

町では、将来町の担い手となる子どもたちに、様々な土地の自然や文化、生活習慣などを学んでもらおうと、平成4年から毎年、夏休み期間を利用して県外研修を実施しています。

6回目となった今年は、多数の応募者の中から抽選により選ばれた小中学生27名が、8月1日から2泊3日の日程で北海道研修を行ってきました。

今月号では、大自然の中でのカヌー体験や牧場見学、地元小中学生との交流など様々な体験をした子どもたちの感想文を紹介します。

生徒県外研修視察(北海道)に参加して

大総小5年

伊藤 恵子



新しい友達もたくさんできました

八月一日、二、三日と、北海道の釧路市、厚岸町へ行ってきました。とまる場所は、自然の家です。北海道はとてもしずしく、夏なのに、さむい時には、だんぼうをつけるほどでした。

飛行機でいくのでうれしかったです。だって私は、飛行機にのるのが、はじめてだったからです。飛行機が上がる時は、おもしろかったです。グインと上がって行って、ゆうえんちの

り物にのってるみたいでした。少し耳がへんになったけど。ラジオもききました。一時間半ほどのつて釧路空港につきました。それからまた自然の家につくまでに、つる公園にもよりました。タンチョウがたくさんいて、はなされていのもいました。写真をとっちゃいました。とりおわって少しいたら、タンチョウがとんだんです。藤代先生も「こうやってとんだのは、はじめてだ。」と言っていました。自然の家では、ついで、食事等をすませてへやで遊んだりしました。マクラなげもしました。友達のマクラがあたって、泣いちゃった時もあったけど…。その日ねたのは、午前一時すぎ。それまでは、ばい店行ったり、ジュース飲んだり遊んだり。でも楽しかった。朝は、おきる時間より早く目がさめた。朝食とって、アイカッブ岬散策。昼食は、さけのチャンチャン焼、カニのみそしる、おにぎり、ポカリスエット。おいしかった。少し食べすぎたみたい。

楽しかったNo.3にも入る。カヌー体験。岡崎ゆかりちゃんとおじさんとやりました。うでやおなかイタクなりました。右にまがる時は、左を。左にまがる時は、右を。右をこぐんだ。つっこまないでうまくすすめてうれしかった。写真もとった。午後7時からの、七宝焼で私は、うさぎに「けいこ」とかいたキーホルダーをつくりました。「けいこ」の文字が少しじやみってしまったけど、よくできた。焼いてすぐあとは、クッキーみたいだった。それからどんどん黄、青、赤、黒と変色していった。さいごはつやが出て、きれいな色になってよかったです。家へのいいおみやげになりました。その日の夜も、午前一時ぐらいまでおきていました。今日は、とうとう帰る日です。いろいろ楽しい事たくさんあったな。おみやげをかって帰ります。その日昼食は、あさひビール飲んで、ジンギスカンのたべほうだい。おいしかったです。おみやげを買いおわり、釧路空港につきました。こんどは、2回目なのでそれほどきんちょうしませんでした。羽田についてバスにのつて——やくばにつきました。かいさん式がおわり家についてから、楽しい三日間だったなアーと思えました。また、県外けんしゅうではなく、北海道に行くときがあれば、いきたいと思えます。

